

第17回 コムズフェスティバル

平成28年1月30日(土)・31日(日)

つなげよう ひろげよう 男女共同参画の輪

すべての人が自分らしく、いきいきと生きる。

そのきっかけになるように、今年度も開催されたコムズフェスティバル。

テーマは「つなげよう ひろげよう 男女共同参画の輪」。

基調講演はタレント、エッセイストの小島慶子さんを講師に、「大黒柱マザー～人生はああでも、こうでもいい～」と題し、ご講演いただきました。

基調講演

講師：小島 慶子さん【タレント、エッセイスト】

大黒柱マザー

～人生はああでも、こうでもいい～

《プロフィール》

タレント、エッセイスト。1972年生まれ。学習院大学法学部卒。

1995年～2010年 TBSにアナウンサーとして勤務。

第36回ギャラクシーDJパーソナリティ賞受賞。

2014年に生活の拠点をオーストラリア・パースに移し、

自身は仕事のある日本との往復生活。

家族は夫と中2・小5の息子。



ご自身の体験をふまえながら、「多様な生き方」、「多様な家族の在り方」についてお話いただきました。

「人生は一步踏み出してみると意外と“地続き”で、何かを手放したら代わりに得られるものがある」

「この先何が起きるかわからないが、いろいろな働き方や生き方を組み合わせながら、その時々で、あれもありだけど、これも悪くないと言えればそれでいい」と語られました。

今回の講演には300名（女性：255名・男性：45名）の市民の方にご参加いただきました。
アンケートでは、大多数の方が「大変よかった」と回答されました。

参加者の声

- ◆さまざまな人生経験が聞ける貴重な時間だった（20代男性）
- ◆いろいろな生き方があるのだと希望が持てた（40代男性）
- ◆女性は選べるがゆえの不安、男性は選べない不自由さ、こういう見方があることがわかった（50代男性）
- ◆男性にとってもとてもよい話だった。日頃、疑問に思っていたことの答えが見つかった（60代男性）
- ◆自分を客観視し、その時々で人生をデザインしていく小島さんの真摯さがすばらしいと思った（20代女性）
- ◆「私もしっかりして家族を支えていこう」という明るい気持ちになった（30代女性）
- ◆発想を切り替えることが大事だと気付いた。今後の生き方の参考にしたいと思った（40代女性）
- ◆変化をおそれず、一步踏み出す勇気をいただいた（50代女性）
- ◆多様性を認めることで、気持ちのしほりがなくなって、自由な生き方ができるということを知った（60代女性）



各市民企画分科会の実行委員会からの報告につきましては、3/1 更新のコムズホームページ（講座・イベント一覧「第17回コムズフェスティバル」の各市民企画分科会の欄）に掲載予定です。